



## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月1日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859  
四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	3,037	10.3	469	△13.1	479	△11.2	332	△13.3
2022年9月期第1四半期	2,753	17.5	540	29.7	540	19.4	383	94.7

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 326百万円 (△15.5%) 2022年9月期第1四半期 385百万円 (97.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	33.11	—
2022年9月期第1四半期	38.18	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	8,321	6,563	78.9
2022年9月期	8,414	6,482	77.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 6,563百万円 2022年9月期 6,482百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,160	7.3	1,200	1.5	1,240	0.4	846	△12.4	84.32
通期	12,870	9.5	2,460	8.2	2,510	8.5	1,710	1.2	170.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	10,405,800株	2022年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	372,608株	2022年9月期	372,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	10,033,192株	2022年9月期1Q	10,033,676株

（注1）期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響が和らぎ、景気に回復の兆しも見えましたが、感染再拡大の懸念やロシア・ウクライナ情勢の緊迫等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く国内のインターネット関連市場では、動画視聴及びEC（インターネット通販）サービス等が拡大し、引き続き市場成長が継続しております。加えて、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

その一方で、リモートワークの拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりや、IoT（※1）によりあらゆるものがサイバー攻撃のリスクにさらされる等、インターネットセキュリティの課題は年々深刻化しており、全てのインターネットユーザーが安心して利用できるよう、安全性を求める声は一層高まりを見せております。このように、投稿監視、カスタマーサポートに加え、サイバーセキュリティへの関心はますます増加しております。

#### 用語説明

（※1）Internet of Things（モノのインターネット）の略称。建物、車、及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。

当第1四半期連結累計期間では、コロナ禍における巣ごもり消費が定着したことによりECサイトのカスタマーサポートが伸びいたしました。また、サイバーセキュリティ業務では、ソフトウェア型WAF（※2）をはじめとするSite Guardシリーズの拡販に注力いたしました。一方で、センター新設による費用の増加及び一部大型案件の低収益化の影響が大きく、全体の利益率が悪化いたしました。

#### 用語説明

（※2）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,037,352千円（前年同期比10.3%増）、営業利益は469,381千円（前年同期比13.1%減）、経常利益は479,763千円（前年同期比11.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は332,165千円（前年同期比13.3%減）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルWebサービス等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

E-Guardian Vietnamと連携し、スタートアップ企業向けにバックオフィス業務を代行するアウトソースサポート「クイックワーク」の提供を開始しました。

その結果、売上高は1,751,451千円（前年同期比13.8%増）となりました。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、ソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及びデバッグ業務等を提供しております。

グループ会社であるEGテストサービス株式会社、E-Guardian PhilippinesやE-Guardian Vietnamと連携し、デバッグ業務、ローカライズ業務及び多言語カスタマーサポートの受注に注力いたしました。

その結果、売上高は475,398千円（前年同期比8.1%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

株式会社CARTA HOLDINGSとの合弁会社である株式会社ビズテラー・パートナーズとの連携を強化し、新規顧客開拓に注力いたしました。

その結果、売上高は407,596千円（前年同期比23.8%増）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主にWAF、脆弱性診断及びSOC（※3）サービスを提供しております。

SiteGuardシリーズにおいて、新たに開発したクラウド型WAF「SiteGuard Cloud Edition」の拡販に努めております。

また、EGセキュアソリューションズ株式会社が、サプライチェーンを構成する企業向けにコンサルティングを行う「サプライチェーンマネジメント強化支援サービス」を提供いたしました。

その結果、売上高は174,919千円（前年同期比10.1%増）となりました。

用語説明

（※3）Security Operation Centerの略称。企業や組織のIT基盤を24時間365日体制で監視しながら攻撃内容の脅威分析や助言を行う部門や専門組織。

⑤ その他

その他は主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。

EGテストサービス株式会社が、既存顧客への深耕営業や新規開拓に注力してまいりました。

その結果、売上高は227,986千円（前年同期比9.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、6,472,448千円となり、前連結会計年度末における流動資産6,510,045千円に対し、37,596千円の減少（前連結会計年度末比0.6%減）となりました。

これは主に、売掛金が317,029千円、その他が87,050千円増加した一方、現金及び預金が452,468千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,849,448千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,903,997千円に対し、54,549千円減少（前連結会計年度末比2.9%減）となりました。

これは主に、のれんが24,063千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、8,321,896千円（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,757,965千円となり、前連結会計年度末における負債1,931,282千円に対し、173,316千円の減少（前連結会計年度末比9.0%減）となりました。

これは主に、流動負債のその他が109,573千円増加した一方、未払法人税等が314,906千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、6,563,931千円となり、前連結会計年度末における純資産6,482,760千円に対し、81,171千円の増加（前連結会計年度末比1.3%増）となりました。

これは主に、剰余金の配当245,399千円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益332,165千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の業績予想は、2022年11月7日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,951,106	4,498,638
売掛金	1,414,590	1,731,620
仕掛品	4,704	15,495
その他	139,698	226,749
貸倒引当金	△55	△55
流動資産合計	6,510,045	6,472,448
固定資産		
有形固定資産	602,737	598,096
無形固定資産		
のれん	481,269	457,206
ソフトウェア	25,227	32,137
その他	168,079	157,594
無形固定資産合計	674,576	646,938
投資その他の資産		
敷金及び保証金	421,644	458,367
その他	374,330	315,338
貸倒引当金	△169,292	△169,292
投資その他の資産合計	626,682	604,413
固定資産合計	1,903,997	1,849,448
資産合計	8,414,042	8,321,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,326	2,721
未払金	778,577	903,861
未払費用	15,410	5,346
未払法人税等	389,996	75,089
未払消費税等	176,675	173,666
賞与引当金	104,333	37,869
その他	133,607	243,180
流動負債合計	1,604,927	1,441,735
固定負債		
役員株式給付引当金	141,340	148,695
長期預り保証金	74,062	64,071
その他	110,951	103,463
固定負債合計	326,354	316,229
負債合計	1,931,282	1,757,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	382,380	382,889
利益剰余金	6,348,617	6,435,383
自己株式	△639,298	△639,298
株主資本合計	6,455,980	6,543,254
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26,779	20,676
その他の包括利益累計額合計	26,779	20,676
純資産合計	6,482,760	6,563,931
負債純資産合計	8,414,042	8,321,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,753,029	3,037,352
売上原価	1,854,044	2,204,195
売上総利益	898,984	833,156
販売費及び一般管理費	358,903	363,774
営業利益	540,081	469,381
営業外収益		
補助金収入	1,069	10,548
その他	3,197	989
営業外収益合計	4,266	11,537
営業外費用		
支払利息	4	—
為替差損	3,891	1,137
その他	24	17
営業外費用合計	3,920	1,155
経常利益	540,426	479,763
特別損失		
固定資産除却損	32	—
不正関連損失	11,200	—
特別損失合計	11,232	—
税金等調整前四半期純利益	529,194	479,763
法人税、住民税及び事業税	121,753	99,091
法人税等調整額	24,355	48,507
法人税等合計	146,108	147,598
四半期純利益	383,086	332,165
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,086	332,165

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	383,086	332,165
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,833	△6,103
その他の包括利益合計	2,833	△6,103
四半期包括利益	385,919	326,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,919	326,061

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。